

## 数 学 問 題

2020(令和2)年度

## 【注意事項】

1. 試験時間は 120 分 である。
2. 試験開始の合図まで, この問題冊子を開いてはいけない。ただし, 表紙はあらかじめよく読んでおくこと。
3. この問題冊子の印刷は 1 ページから 5 ページまでである。
4. 解答用紙は問題冊子中央に 3 枚はさみこんである。
5. 問題冊子に落丁, 乱丁, 印刷不鮮明な箇所等があった場合および解答用紙が不足している場合は, 手をあげて監督者に申し出ること。
6. 試験開始後, 3 枚ある解答用紙の所定の欄に, 受験番号と氏名を記入すること (1 枚につき受験番号は 2 箇所, 氏名は 1 箇所)。
7. 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。解答用紙の裏面に記入してはいけない。
8. 問題番号に対応した解答用紙に解答していない場合は, 採点されない場合もあるので注意すること。
9. 問題は必答問題と選択問題に分かれている。

| 問題番号 | 〔Ⅰ〕 | 〔Ⅱ〕 | 〔Ⅲ〕           | 〔Ⅳ〕 | 〔Ⅴ〕 |
|------|-----|-----|---------------|-----|-----|
| 選択方法 | 必答  | 必答  | いずれか 1 題を選択解答 |     |     |

10. 選択問題は, 解答する問題番号を, 必ず該当する解答用紙の所定の欄に記入すること。
11. 解答用紙を切り離したり, 持ち帰ってはいけない。
12. 問題冊子の中の白紙部分は下書き等に使用してよい。
13. 試験終了時刻まで退室を認めない。試験中の気分不快やトイレ等, やむを得ない場合には, 手をあげて監督者を呼び, 指示に従うこと。
14. 試験終了後は問題冊子を持ち帰ること。

(必答問題)

〔Ⅰ〕以下の問いに答えなさい。ただし、解答のみを解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

(1) 方程式

$$x^4 - 8x^3 + 17x^2 - 8x + 1 = 0$$

を解きなさい。

(2)  $\vec{a}, \vec{b}$  を平面上のベクトルとします。  $3\vec{a} + 2\vec{b}$  と  $2\vec{a} - 3\vec{b}$  がともに単位ベクトルであるとき、ベクトル  $\vec{a} + \vec{b}$  の大きさ  $|\vec{a} + \vec{b}|$  の最大値を求めなさい。

(3) 座標平面上で運動する点が、 $x$  座標か  $y$  座標の少なくとも一方は整数である点のみを通過して、原点  $(0, 0)$  から点  $(6, 4)$  まで最短の道のりで移動することを考えます。ただし、点  $(4, 2)$  は通らないこととします。このとき、移動する道順は何通りあるか求めなさい。

(4) 2つの袋 A, B それぞれに、赤玉 1 個、白玉 3 個の合計 4 個ずつの玉が入っています。袋 A と袋 B から同時に、無作為に 1 つずつの玉を取り出し、それらの玉を交換して袋に戻すことを繰り返します。 $n$  を自然数とするとき、 $n$  回目の交換の後、袋 A の中に赤玉がちょうど 1 個入っている確率を  $n$  を用いて表しなさい。

(必答問題)

〔Ⅱ〕以下の問いに答えなさい。

(1)

$$\left(\sqrt{2}^{\sqrt{2}}\right)^{\sqrt{2}}$$

の値を求めなさい。

(2)  $\sqrt{2}$  が無理数であることを証明しなさい。

(3)  $x^y$  の値が有理数になる無理数の組  $(x, y)$  が存在することを証明しなさい。

(選択問題) 〔Ⅲ〕～〔Ⅴ〕は、いずれか1題を選択し、解答すること

〔Ⅲ〕正五角形 ABCDE の外接円の中心を O とします。また、線分 AC と線分 BE の交点を M とします。このとき、以下の問いに答えなさい。

(1)  $BC = MC$  であることを証明しなさい。

(2)  $\frac{AC}{AB}$  の値を求めなさい。

(3)  $\cos \frac{3\pi}{5}$  の値を求めなさい。

(4)  $\frac{AC}{OA}$  の値を求めなさい。

(5)  $\cos \frac{\pi}{5}$  の値を求めなさい。

(選択問題) 〔Ⅲ〕～〔Ⅴ〕は、いずれか1題を選択し、解答すること

〔Ⅳ〕以下の問いに答えなさい。

(1)  $n$  を2以上の自然数とすると、関数  $\frac{\cos x}{\sin^n x}$  の導関数を求めなさい。

(2) 不定積分  $\int \frac{dx}{\sin x}$  を求めなさい。

(3)  $n$  を3以上の自然数とすると、部分積分法を用いて

$$\int \frac{\cos^2 x}{\sin^n x} dx = \frac{1}{1-n} \left( \frac{\cos x}{\sin^{n-1} x} + \int \frac{dx}{\sin^{n-2} x} \right)$$

が成り立つことを証明しなさい。

(4) 定積分  $\int_{\frac{\pi}{4}}^{\frac{\pi}{2}} \frac{\cos^2 x}{\sin^3 x} dx$  の値を求めなさい。

(選択問題) 〔Ⅲ〕～〔Ⅴ〕は、いずれか1題を選択し、解答すること

〔Ⅴ〕ある試行を1回行ったとき、事象  $A$  の起こる確率を  $p(0 \leq p \leq 1)$  とします。  
この試行を  $n$  回反復します。 $n$  は自然数です。 $X_i(i = 1, 2, \dots, n)$  を「 $i$  回目の試行で事象  $A$  が起きた場合に値 100, 起きなかった場合に値 50 をとる確率変数」とします。このとき、以下の問いに答えなさい。

- (1)  $X_i(i = 1, 2, \dots, n)$  の確率分布を表で示しなさい。
- (2)  $X_i(i = 1, 2, \dots, n)$  の平均と分散を求めなさい。
- (3) 確率変数  $Y = X_1 + X_2 + \dots + X_n$  と  $Z = 100n - (X_1 + X_2 + \dots + X_n)$  を考えます。また、 $W = YZ$  とします。このとき、
  - (ア)  $Y$  の平均と分散を求めなさい。
  - (イ)  $W$  を  $Y$  の関数として表し、 $W$  の平均を求めなさい。
  - (ウ)  $W$  の平均が最も大きくなるような確率  $p$  と、そのときの  $W$  の平均を求めなさい。